

樹林

目黒川沿いの斜面林を再現



コナラ

雑木林に多くみられる落葉高木で、秋にはドングリが実ります。

クヌギ

コナラとともに雑木林に多くみられる落葉高木です。ドングリは丸く、ぼうしはトゲ状です。

イヌシデ

山野によくみられますが、雑木林にもみられる落葉高木です。幹に白いしま模様があります。

ヤマザクラ

日本の代表的な野生のサクラです。4月頃、若葉が出ると同時に花を咲かせます。

ガマズミ

初夏に白く小さい花が集まって咲く落葉低木です。秋に赤い実をつけます。

オオタカ

カラスくらいの大きさの猛禽類です。樹林で繁殖し農地や河川などでハト類やカモ類などを捕食します。

メジロ

12cmくらいでスズメより小さく、目の周りが白いのが特徴です。花のミツや果汁が大好きです。

セキショウ

溪流などにみられる常緑多年草です。細長い葉が特徴で、春にうすい黄色の穂を伸ばします。

ヒツジグサ

白い花が美しい野生のスイレンです。午後2時前後(未の刻)に花が開くといわれています。

コウホネ

夏に鮮やかな黄色い花が咲く水草です。根が骨のようにみえることからコウホネ(河骨)と名づけられました。

ミソハギ

湿地でみられる多年草です。夏から初秋にかけて、紅色の目立つ花を咲かせ、お盆の花に使われました。

モツゴ

8cmくらいの大きさで、クチボソとも呼ばれます。かつては小川やため池などに多くみられました。

シオカラトンボ

日本中の水辺で多くみられる中型のトンボで、成熟すると、オスは青白く体色が変わります。

小川の流れや池を再現



流れ・池

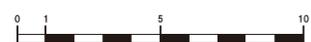


ここでみられる野草

- アキノキリンソウ
- ウツボグサ
- オカトラノオ
- オトコエシ
- オミナエシ
- カワラナデシコ
- キキョウ
- キジムシロ
- コバギボウシ
- サワヒヨドリ
- スミレ
- チガヤ
- チダケサシ
- ツリガネニンジン
- ヌマトラノオ
- ノアザミ
- ノコンギク
- ノハナショウブ
- ヒメヤブラン
- ヒヨドリバナ
- ホタルブクロ
- ミソハギ
- リンドウ
- ワレモコウ など

おおしりの杜 平面図

縮尺: 約250分の1



草地

馬や牛のえさ場となっていた草地を再現



オミナエシ

8月から9月にかけて、黄色い小さな花がたくさん集まって咲きます。秋の七草のひとつです。

オカトラノオ

初夏に白く小さい花が集まって咲く多年草で、先っぽが虎の尾のようにたれ下がります。

カワラナデシコ

夏から秋に可憐な花を咲かせる多年草です。秋の七草のひとつとして親しまれています。

キキョウ

6月から8月にかけて、青紫色の星型のような花が咲きます。秋の七草です

チガヤ

イネ科の野草で春に白い穂をつけ、秋には紅葉します。バッタやチョウなどにチガヤを食べる種がいます。

チョウ類

白いモンシロチョウ、黄色のキタキチョウや青と灰色のヤマトシジミなどがよくみられます。

バッタ類

オンブバッタやヒシバッタなどがよくみられます。また、エンマコオロギなどもみられます。

コナギ

夏の終わりに青紫色の花を咲かせる1年草です。増えすぎて田んぼ一面に広がることもあります。

オモダカ

矢印のような形の葉が特徴の多年草です。夏に白い花を咲かせ、同じ株にお花とめ花が咲きます。

ミナミメダカ

古くから日本人に親しまれてきた3cmくらいの小さな魚で、かつては水田や小川で多くみられました。

カワニナ

ゲンジボタルの幼虫がよく食べることで知られている小さな巻貝の仲間です。

ヤゴ

ヤゴはトンボの幼虫です。水田では、シオカラトンボやアキアカネなどのヤゴがみられます。

ハイロゲンゴロウ

池や水田でよくみられる水生昆虫です。洪水や工事のできた水たまり(一次水域)に最初にやってきます。

草土手に囲まれた水田を再現

水田

